

KSGA

KANTO STUDENTS GOLF ASSOCIATION



●茨城ロイヤルカントリー倶楽部



競技に愛を
記録に夢を
練習に心を

(鈴木 間多)

季刊

関東学生ゴルフ連盟発行

Vol.70



**HI-SPIN
COVER
X
BIG DRIVE
CORE**



飛ばすための、止めるための、
まったく新しいテクノロジー。

ダンロップ史上最薄・最軟のウレタンカバーと最大のセンターコアで、これまでにない圧倒的な飛距離とスピン性能を実現した。チャレンジするアスリートたちに史上最高の瞬間を。

驚異の飛びと
優れたスピン性能。

驚異のスピン性能と
群を抜くやさしさ。

Z-UR
SERIES NEW



Z-UR



Z-URS

カッコイイゴルフを
しませんか。

SRIXON

詳しくは <http://golf.dunlop.co.jp/>へ。

○トーナメント等に関しては <http://golfpark.jp/>

○商品のお問い合わせ 東京03-5546-0160/神戸078-265-3045

SRIスポーツ株式会社 〒651-0072 神戸市中央区臨浜町3-6-9

CS

HT

NZ

WE

HT

NZ

CO

CO

巻頭言 KSGA70号によせて ●関東学生ゴルフ連盟会長 松本富夫 2

学校紹介 我がゴルフ部 ●青山学院大学 ●中央学院大学 3

競技会レポート
男子第53回・女子第9回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権 4

Result
第53回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権 5~6

Result
第9回朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権 7~8

競技会レポート
男子第51回・女子第8回信夫杯争奪日本学生ゴルフ対抗戦 9

Result
第51回信夫杯争奪日本学生ゴルフ対抗戦 10~11

Result
第8回信夫杯争奪日本女子学生ゴルフ対抗戦 12~13

アンケート 14~16

競技会レポート
文部科学大臣杯争奪第35回日本学生ゴルフ王座決定戦 19

Result
文部科学大臣杯争奪第35回日本学生ゴルフ王座決定戦 20~21

競技会レポート
男子第44回・女子第42回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人選手権 22

Result
第44回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人選手権 23

Result
第42回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人選手権 24

Result
平成18年度関東学生ゴルフ連盟男女月例会(11月) 25~26

競技会レポート
2006年度 アジア大学ゴルフ選手権 27

Result
2006年度 アジア大学ゴルフ選手権 28

編集後記 29

表紙写真：茨城ロイヤルカントリー倶楽部(茨城県常陸太田市)

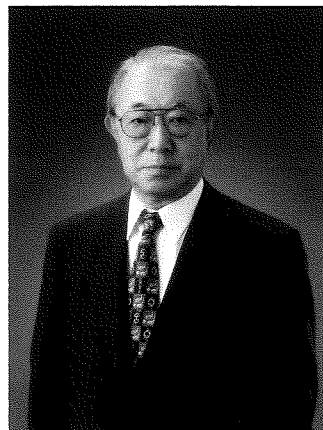
ゴルフを楽しむための優雅でハイクラスな「遊」の精神

なだらかな丘陵地に戦略性と自然の美しさが融和した味わい深い18ホール、フェアプレーの精神とプレーを楽しむゆとり、そしてマナーを尊ぶスポーツにふさわしい最良のステージが築かれております。

ゴルファーのレベルに応じて楽しめるフラットな中に多彩な表情を見せる各ホールは、ビギナーからアベレージゴルファーが楽しめるのは勿論のこと、難易度の高い戦略性のあるグリーンはすべてワングリーンとなっております。

KSGA70号によせて

関東学生ゴルフ連盟 会長 松本 富夫



新しい年を迎え今年もよろしくお願い申し上げます。
KSGAも平成2年4月に創刊号を発行して以来今回で第70号となり、ここまで継続して発行することができたのも、刊行に携わってきた方々の汗と熱意と努力の賜物であり、関係者の皆様には心から感謝申し上げたい。

戦後の学生ゴルフも50年を経過したが、日本のゴルフ界も学生ゴルフ界も大きな歴史を創った半世紀でした。戦後食事も自由にならなかった時代に、我々学生にゴルフをさせてくれた父親達にまず感謝し、若造のゴルフにご理解とご指導して下さった諸先輩にお礼を申し上げます。

最近の学生ゴルフもグローバル化して競技数は増えて来ているが勝つことが難しくなって来ている。狭い国土で地代の高い日本では、ゴルフに掛かる費用が外国と比べて高すぎるために、ゆとりの有る家庭でないと仲々ゴルフに取り組めない。日本ももっと学生やジュニア達が気軽に、夕方になると近所のゴルフ場で練習できる様な時代が来ることを期待し、その努力をしなければならぬと思う。

今や学生ゴルフが中心となってアマチュア界をリードする様になった。しかし、ジュニアに目を向けると、最近の傾向として高校を卒業したらすぐプロの世界に入り収入を考える若者が大変多くなった様に思う。特に女子の場合には年令的な問題もあり10代から20代の前半にプロに転向するという傾向にあり、そのため女子学生のレベルが低下して、ナショナルチームのメンバーも大半が高校生になって来ている。

今後の学生連盟の方針としては、強い選手を作り出すことと平行して、文武両道を両立した学生生活を4年間送りながら、スポーツとしてのゴルフを通してルールとマナーを学び、社会へ飛び立った時には社会に愛される人間に、また、プロに転向した者もギャラリーに好感を持たれるプレーヤーに育て欲しいと願い、学生教育の一環としての指導を進めて行く所存であります。

我が ゴルフ部

青山学院大学

所在地 〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 ☎03-3409-8111



監督 永曾 幹人
主将 神田 賢宏
主務 久富 康弘
部員数 11人 (男子7人、女子4人)
創部 1959年



こんにちは、青山学院大学です。僕達青学ゴルフ部は2009年で創立50周年を迎える歴史の長い部活です。しかし部員の減少や、運営面での問題などにより思うような成績が出せない日々が続きました。そこで2009年を1つの区切りとしてビジョンを策定しました。運営面では青山学院大学を代表する組織として、学生として成長するために部活のルールを明確化し、透明な部活運営となるために情報共有の場としてのミーティングの機会を増やしました。また成績面では現状のDブロックからBブロックに昇格することを目標に掲げました。今までの練習方法を見直し、限られた戦力で戦うために緊張感のあるラウンドを増やしたいと考えました。そのために青学では他の大学との練習試合を充実させたいと考えていますので、もしお考えの大学がありましたら、ホームページ(<http://aogakugolf.com/>)のお問い合わせまでご連絡ください。これからのビジョンを胸に2007年度も頑張りますのでよろしくお願いします。

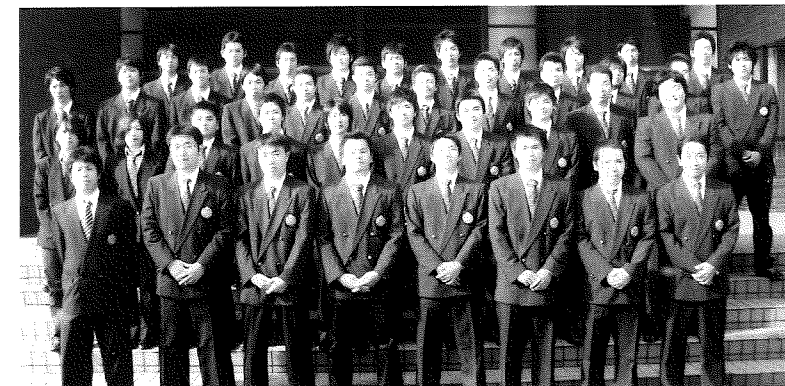
中央学院大学

所在地 〒270-1196 千葉県我孫子市久寺家451



部長 宇都宮 充夫
名誉監督 細川 力
監督 河内 喜文
コーチ 海老澤 勝利 中村 憲司
テクニカルコーチ 窪田 茂
コンディショニングコーチ 野上 圭太
主将 芳賀 洋平
主務 金沢 一漫
部員数 42人 (男子40人、女子2人)
創部 1966年

中央学院大学体育会ゴルフ部では、充実した練習環境、そしてテクニカルコーチ・コンディショニングコーチによる指導の下、技術面・精神面を鍛え、限られた時間の中でいろいろな面でレベルアップを図っていき、部員全員が一致団結し、一日一日を大切に日々精進し日本一を目指し頑張っています。



大谷俊介君(名古屋商科④)が僅差での接戦を勝ち抜き優勝

男子

第53回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権は昨年同様、こだまゴルフクラブ(埼玉県本庄市)で11月7日から2日間開催された。

初日は一時的に雨が降り、午後には立っているのも辛い、物凄い強風が吹き荒れ、多くの選手がスコアを崩していった。そのようなコンディションの中、塚田陽亮君(名古屋商科②)が3アンダーという驚異的なスコアで単独首位に立った。しかし、それを大谷俊介君(名古屋商科④)が71ストローク、藤島征次君(東北福祉④)、池田勇太君(東北福祉③)、澤田健一君(中京学院③)、真田雅彦君(早稲田②)が72ストロークと、強豪選手達が逆転のできる好位置につけていた。

最終日は、昨日の風など嘘のようにおさまり天気も快晴であった。だが、初日首位であった塚田君がプレッシャーからなのかスコアを伸ばしきれず、後半のハーフでもスコアを崩し、優勝戦線から退いてしまう。反対に前半のハーフを大谷君、安本大祐君(東北福祉②)が2アンダー、その他の上位選手も安定したプレー

で着実にスコアを伸ばしていった。その為、後半の3ホールになっても誰が勝つか予測のできない混戦状態になっていった。その中、大谷君も途中スコアを崩してしまいがちながらも、最後まで集中力を切らさずに71ストロークでプレーを終え、藤島君に1打差という僅差で競り勝ち、見事優勝の栄冠を勝ち取った。

大谷君は、2日間のトータルスコアが142ストロークのパープレー、非常に安定したプレーでの優勝となった。また、下位の選手達の差も僅差となり、非常に白熱した第53回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権であった。



▲ 朝日杯男子を制した大谷俊介君(名古屋商科④)【写真提供: 朝日新聞社】

佐伯三貴さん(東北福祉③)が安定したプレーで優勝

女子

第9回朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権は昨年同様、こだまゴルフクラブで開催、全国から集まった57名の選手が熱戦を繰り広げた。

初日は一時的な雨、午後は強風という悪コンディションの中、多くの選手がリズムを狂わされ、スコアを崩していった。そんな中、単独トップに躍り出たのは、佐伯三貴さん(東北福祉③)で2アンダーの70ストロークであった。初日終了時点で後続の小山恵利子さん(日本②)、山本亜香里さん(同志社①)に5打差をつけ、佐伯さんの圧倒的勝利で終わるのかと思われた。

だが、最終日に高林由実さん(中京学院②)が2アンダーでプレーを終え、佐伯さんを猛追した。しかし、佐伯さんはプレッシャーを感じることも無く、安定したプレーでラウンドをし、高林さんに2打差をつける

144ストロークで見事優勝を飾った。

また、佐伯さん、高林さん両名が70ストロークのコースレコードを達成、コースを提供していただいたこだまゴルフクラブより「コースレコード賞」が贈られた。そして、初日75ストロークの好位置につけた山本さんが5番ホールにてホールインワンを達成、同じくゴルフ場より表彰を受けた。



▲ 朝日杯女子を制した佐伯三貴さん(東北福祉③)【写真提供: 朝日新聞社】

- 主催 日本学生ゴルフ連盟 朝日新聞社
- 後援 日刊スポーツ新聞社
- 協賛 横浜ゴム
- 協力 こだまゴルフクラブ
- 期日 平成18年11月7日(火)～8日(水)
- 使用コース こだまゴルフクラブ 7,008yds Par71
- 競技方法 2日間計36ホール・ストロークプレーにより順位を決定。
第1日目(予選ラウンド)上位60人が決勝ラウンドに進出。
60人にタイが発生した場合、INのスコアでのマッチング方式で決定。
上位10位以内の選手が、来年度の本大会への出場権を獲得。
第1日 曇り一時雨のち晴れ 第2日 晴れ
- 取得権利
- 天候

成績

順位	氏名	大学名	第1日			第2日			GRAND TOTAL
			OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL	
1	大谷 俊介	名古屋商科④	35	36	71	34	37	71	142
2	藤島 征次	東北福祉④	35	37	72	35	36	71	143
3	安本 大祐	東北福祉②	35	39	74	34	36	70	144
4T	土屋 陽平	東北福祉④	38	35	73	35	37	72	145
	真田 雅彦	早稲田②	34	38	72	37	36	73	145
	池田 勇太	東北福祉③	35	37	72	36	37	73	145
	澤田 健一	中京学院③	35	37	72	36	37	73	145
	塚田 陽亮	名古屋商科②	35	33	68	37	40	77	145
9T	小杉 康太	萩国際③	36	39	75	37	35	72	147
	渡邊 優登	東北福祉②	38	35	73	36	38	74	147
以上の結果、上位9位タイ、10人の選手が、第54回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権への出場権を獲得。									
11	近藤 龍一	同志社②	37	36	73	38	37	75	148
12T	小山 貢志郎	九州東海③	39	37	76	37	36	73	149
	中道 洋平	東北福祉③	35	41	76	35	38	73	149
	高畑 友希	名古屋商科①	37	38	75	38	36	74	149
16T	和田 健太郎	東北福祉②	35	38	73	38	38	76	149
	山崎 祐一	中央学院③	40	38	78	34	38	72	150
	手嶋 宗一郎	九州東海①	41	35	76	36	38	74	150
	芳賀 洋平	中央学院③	33	39	72	43	35	78	150
19	谷山 優太	日本①	37	39	76	35	40	75	151
20T	藤本 俊	東北福祉①	38	40	78	37	37	74	152
	斉藤 麗	早稲田③	37	40	77	37	38	75	152
	岡部 大輔	東北福祉①	37	39	76	38	38	76	152
23T	早乙女 剛史	日本④	36	44	80	39	34	73	153
	中島 徹	早稲田④	34	44	78	41	34	75	153
	花岡 和典	名古屋商科③	42	34	76	39	38	77	153
	宮國 雄一朗	萩国際②	34	40	74	40	39	79	153
	亀井 美博	東北福祉①	34	38	72	42	39	81	153
28T	依田 利之	東北福祉④	41	41	82	32	40	72	154
	山岸 慎太郎	慶應義塾③	40	39	79	39	36	75	154
	岡本 祐一	近畿②	37	41	78	40	36	76	154
	嶋崎 辰紀	同志社②	35	43	78	39	37	76	154
	見崎 和也	同志社③	37	40	77	37	40	77	154
	眞鳥 翔	関西学院②	36	40	76	39	39	78	154
34T	丸山 聖	日本④	43	40	83	35	37	72	155
	荒木 龍人	愛知①	37	40	77	38	40	78	155
36T	勝又 崇之	専修④	35	47	82	40	34	74	156
	小林 伸太郎	東北福祉②	38	43	81	38	37	75	156
	三品 貴泰	愛知学院④	42	39	81	37	38	75	156
	大堀 耕太郎	大阪学院①	38	42	80	37	39	76	156
	古味 重威	名古屋商科③	37	39	76	40	40	80	156
	日高 裕貴	東北福祉②	41	33	74	42	40	82	156
42T	播戸 篤志	京都産業③	41	42	83	36	38	74	157
	後藤 太志	甲南②	37	45	82	38	37	75	157
	橋爪 光彦	日本④	41	41	82	38	37	75	157
	瀧山 侑輝	三重中京④	38	42	80	37	40	77	157
	宮里 政志	専修①	39	40	79	36	42	78	157

- 主 催 日本学生ゴルフ連盟 朝日新聞社
- 後 援 日刊スポーツ新聞社
- 協 賛 横浜ゴム
- 協 力 こだまゴルフクラブ
- 期 日 平成18年11月7日(火)～8日(水)
- 使用コース こだまゴルフクラブ 6,250yds Par72
- 競技方法 2日間合計36ホール・ストロークプレーにより順位を決定。
第1日目(予選ラウンド)上位33人が決勝ラウンドに進出。
33人にタイが発生した場合、OUTのスコアでのマッチング方式で決定。
上位10位以内の選手が、来年度の本大会への出場権を獲得。
- 取得権利 第1日 曇り一時雨のち晴れ 第2日 晴れ
- 天 候

成績

順位	氏 名	大学名	第1日			第2日			GRAND TOTAL
			OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL	
47T	鬼澤 友秀	日本体育①	38	41	79	40	39	79	158
	藤田 晃規	大阪学院②	35	42	77	39	42	81	158
49T	窪田 新平	早稲田③	42	38	80	40	39	79	159
	石原 良成	立命館④	38	41	79	38	42	80	159
	田村 三成	九州東海④	38	41	79	39	41	80	159
	宮下光太郎	第一経済①	37	42	79	40	40	80	159
	青山 禎達	名古屋商科①	38	39	77	39	43	82	159
	岸田 佑典	関西学院④	39	38	77	43	39	82	159
55T	西田 昌史	名古屋商科③	41	39	80	39	41	80	160
	東 大悟	大阪学院④	42	36	78	40	42	82	160
57	山田 稔	中央③	43	38	81	39	41	80	161
58	鳴海 翼	日本①	39	42	81	39	42	81	162
59	鶴嶋 洋平	北海道東海③	38	42	80	43	43	86	166
60	土城 弘大	近畿②	42	41	83	42	42	84	167
以上の結果、60人が決勝ラウンドに進出。									
61T	齋藤 伸夫	慶應義塾④	41	43	84				
	横田 浩平	大阪学院④	40	44	84				
	神原 圭宏	関西学院④	38	46	84				
	西原 健太	三重中京③	40	44	84				
	岸本 拓也	中京学院④	41	43	84				
66T	高橋 佳祐	駒澤②	42	43	85				
	高橋 克成	東北学院②	42	43	85				
68T	益田 直明	徳山①	45	41	86				
	木村 優人	大阪学院③	40	46	86				
	木原 勇也	福岡②	42	44	86				
71T	北岡 学	近畿②	42	45	87				
	森中 健介	立命館③	39	48	87				
	小田 秀明	中京学院②	41	46	87				
74T	吉長 拓哉	近畿②	40	48	88				
	難波 英敏	岡山商科②	40	48	88				
76	竹口幸希元	札幌①	44	45	89				
77	矢吹佳二朗	札幌②	41	50	91				
78T	万袋 裕紀	甲南③	38	55	93				
	江口 祐	流通科学④	43	50	93				
80	花城高奈史	第一経済①	48	46	94				
81	田村 泰介	北海道③	60	52	112				

成績

順位	氏 名	大学名	第1日			第2日			GRAND TOTAL
			OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL	
1	佐伯 三貴	東北福祉③	36	34	70	36	38	74	144
2	高林 由実	中京学院②	37	39	76	33	37	70	146
3T	川原 怜子	九州東海③	38	38	76	39	36	75	151
	小山恵利子	日本②	37	38	75	39	37	76	151
5	辻 恵美子	近畿④	39	39	78	38	38	76	154
6T	秋山紗恵子	関西学院①	41	40	81	38	36	74	155
	原 江里菜	東北福祉①	44	35	79	38	38	76	155
	山本 知佳	東北福祉④	39	37	76	41	38	79	155
	山本亜香里	同志社①	38	37	75	38	42	80	155
10T	服部 真夕	名古屋商科①	37	42	79	38	39	77	156
	木村 麻希	専修①	39	38	77	41	38	79	156
	水野真由美	日本③	41	36	77	41	38	79	156
	矢嶋 里菜	聖心女子④	39	38	77	39	40	79	156
	池内絵梨藻	大手前③	38	38	76	41	39	80	156
以上の結果、上位10位タイ、14人の選手が第10回朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権への出場権を獲得。									
15	月東亜矢香	愛知学院④	38	40	78	38	41	79	157
16T	川満陽香理	立命館①	36	45	81	38	39	77	158
	菰田 依未	東北福祉④	42	38	80	38	40	78	158
	綾田 紘子	法政①	39	39	78	41	39	80	158
	鈴木加容子	大阪学院②	37	41	78	40	40	80	158
	本多 弥麗	中京学院④	39	36	75	42	41	83	158
21	竹田 真実	東北福祉③	40	41	81	40	38	78	159
22	田中美弥子	九州東海③	42	38	80	39	41	80	160
23	泉 里奈	日本体育①	37	40	77	43	41	84	161
24T	中田 春加	法政②	41	39	80	44	39	83	163
	久保 宣子	名古屋商科①	40	39	79	40	44	84	163
	大谷 幸子	日本③	39	39	78	42	43	85	163
	関 舞	東北福祉②	42	36	78	43	42	85	163
28T	石田由梨佳	愛知学院①	41	41	82	40	42	82	164
	杉山 加奈	日本④	39	42	81	43	40	83	164
30T	斉藤 菜苗	大阪学院①	40	42	82	43	40	83	165
	小川 真実	専修②	40	38	78	44	43	87	165
32	池内真梨藻	大手前③	39	43	82	45	43	88	170
33	奥山ゆかり	駒澤②	39	43	82	47	44	91	173
以上の結果、上位33人の選手が決勝ラウンドに進出。									
	西田 舞子	大阪学院④	41	41	82				
	西島 有布	近畿④	41	41	82				
	宮本 唯	愛知産業①	43	39	82				
37T	辻崎香穂里	名古屋商科③	43	40	83				
	管 悠香里	熊本学園④	44	39	83				
	林 佳世子	専修③	38	45	83				
	平 幸子	近畿③	43	40	83				

成績

順位	氏 名	大学名	第1日		
			OUT	IN	TOTAL
41T	小池 夏美	愛知学院③	42	42	84
	二宮歌奈子	東北福祉③	42	42	84
	青木 敬子	日本②	43	41	84
	西村 麻衣	専修④	43	41	84
45T	田村 良海	明治③	44	41	85
	小川茉奈美	日本①	45	40	85
	植田希実子	法政①	39	46	85
48T	松本 夏美	中央学院①	41	45	86
	芳村 季成	近畿②	45	41	86
50T	下田 あい	愛知③	45	42	87
	堀田 晶子	関西③	45	42	87
52	米島 有	神戸松蔭女子学院④	44	45	89
53T	吉永会梨佐	東北福祉②	46	44	90
	水谷 宏江	同志社③	43	47	90
	高橋 美帆	中央学院①	49	41	90
56	水谷真規子	大阪樟蔭女子④	47	44	91
57	村上 幸	龍谷②	45	47	92

競技会レポート

男子第51回・女子第8回信夫杯争奪日本学生ゴルフ対抗戦

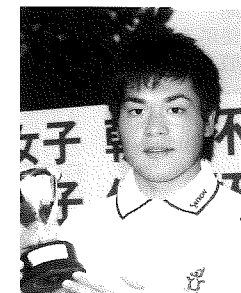
矢野 竜輝

(日本大学)

男子 東北福祉大の圧倒的勝利！



◀ 信夫杯男子を制した東北福祉大学チーム
【写真提供：朝日新聞社】



◀ メダリストの藤島征次君（東北福祉④）
【写真提供：朝日新聞社】

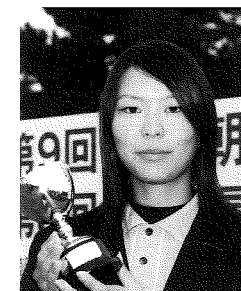
第51回信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦は昨年と同じこだまゴルフクラブ（Pra71）で、2日間で36ホールのストロークプレーで行われた。各大学から5名出場、上位4名のスコアの合計で争われた。2日間とも晴天に恵まれ、今期最後の大学対抗戦にふさわしい天候となった。初日、東北福祉大が、チームスコアを主将の藤島征次君（4年）のこの日唯一の60台となる68ストロークを含むチームスコア1アンダーとして、2位タイの日本大と中央学院大に10打差をつけ、2位以下を大きく突き放した。最終日の日本大と中央学院大の追い上げが期待された。しかし東北福祉大は最終日も他の

大学に隙を与えなかった。安本大祐君（2年）がホールインワンを含む67ストロークでまわり、藤島征次君が好調をキープして70ストロークでまわるなど、2日間のチームスコアを2アンダーとした。一方、日本大はこの日はチームスコアを4オーバーとし、安定したスコアを出したものの、東北福祉大に追いつけず2位となった。東北福祉大が日本大に15打差をつけ、圧倒的な力を見せつけて優勝を飾った。最優秀選手には、138ストロークでプレーした東北福祉大の藤島征次君が選ばれた。

女子 日大、5年ぶりの逆転優勝！



◀ 信夫杯女子を制した日本大学チーム
【写真提供：朝日新聞社】



◀ メダリストの服部真夕さん（名古屋商科①）
【写真提供：朝日新聞社】

第8回信夫杯争奪日本女子大学ゴルフ対抗戦は昨年と同じこだまゴルフクラブで、2日間で計36ホールのストロークプレーで行われた。各大学から5名出場、上位4名のスコアの合計で争われた。初日、東北福祉大がチームスコアを佐伯三貴さん（3年）のコースレコードタイとなる70ストロークを含むチームスコア7オーバーとし、2位の日本大に6打差をつけた。東北福祉大は男子の部も初日トップで終えたので、連続アベック優勝に期待がかかった。しかし、最終日は日本大が意地を見せた。水野真由美さん（3年）が佐伯三貴

さんに続くコースレコードタイとなる70ストロークでまわり、他の選手も70台にスコアをまとめ、日本大が2日間のチームスコアを25オーバーとした。トップだった東北福祉大は最終日だけでチームスコア23オーバーとスコアを崩してしまい、日本大が東北福祉大に5打差をつけて5年ぶりとなる逆転優勝を飾った。また、チーム成績が3位となった名古屋商科大の服部真夕さん（1年）が144ストロークでまわり、最優秀選手に選ばれた。

平成18年度 第51回 信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦

- 主催 日本学生ゴルフ連盟 朝日新聞社
- 後援 日刊スポーツ新聞社
- 協賛 横浜ゴム
- 協力 こだまゴルフクラブ
- 期日 平成18年11月9日(木)～10日(金)
- 使用コース こだまゴルフクラブ 7,008yds Par71
- 競技方法 1日18ホール、2日間計36ホール・ストロークプレー。6人エントリー、5人出場、上位4人の合計ストローク数により順位を決定。
- 参加校 北海道大学 日本大学 東北福祉大学 中央学院大学 駒澤大学
名古屋商科大学 三重中京大学 大阪学院大学 関西学院大学 同志社大学
萩国際大学 九州東海大学
- 天候 第1日 晴れ 第2日 晴れ

成績

順位	大学名	氏 名	第1日			第2日			GRAND TOTAL	
			OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL	第1日	第2日
優 勝	東北福祉大学	藤島 征次④	35	33	68	33	37	70	283	283
		池田 勇太③	34	37	71	34	40	74		
		中道 洋平③	35	35	70	36	36	72	566	
		小林伸太郎②	38	36	74	32	35	67		
		安本 大祐②	38	37	75※					38
		岡部 大輔①								
準 優 勝	日本大学	橋爪 光彦④	35	41	76※	36	36	72	293	288
		川満 歩④	38	36	74	38	36	74		
		宮本 太郎④	36	38	74	36	36	72	581	
		早乙女剛史④	39	36	75	38	38	76※		
		岩國 誠之③	34	36	70	35	35	70		
		谷山 優太①								
第 3 位	中央学院大学	石田鈴千代④	35	37	72	37	37	74	293	300
		後藤 拓磨④	43	43	86※	35	34	69		
		芳賀 洋平③	36	35	71				40	42
		山崎 祐一③	39	37	76	34	41	75		
		江口 幸輝①	33	41	74	42	40	82※		
		山元 貴大①								
第 4 位	名古屋商科大学	大谷 俊介④	35	35	70	36	34	70	295	300
		花岡 和典③	38	40	78※	36	39	75		
		古味 重威③	41	37	78	41	40	81※	595	
		河合 俊輔②								
		青山 禎達①	36	38	74	37	37	74		
		比嘉 拓也①	35	38	73	40	41	81		
第 5 位	九州東海大学	田村 三成④	36	36	72	38	35	73	301	299
		小山貢志郎③	39	35	74	38	37	75		
		上間 匡②	38	40	78	37	38	75	600	
		山本 勇樹②	39	41	80※	46	41	87※		
		満吉 康輔②								
		手嶋宗一朗①	40	37	77	37	39	76		
第 6 位	同志社大学	見崎 和也③	37	37	74	38	38	76	307	297
		足立 貴弘③	44	46	90※	41	44	85		
		神田 徹平③	42	40	82				37	35
		近藤 龍一②	36	37	73	40	41	81		
		嶋崎 辰紀②	38	39	77	45	44	89※		
		北川 悠介②								

成績

順位	大学名	氏 名	第1日			第2日			GRAND TOTAL	
			OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL	第1日	第2日
第7位	大阪学院大学	東 大悟④	39	39	78	35	37	72	309	314
		横田 浩平④	43	41	84※	45	37	82		
		木村 優人③	36	40	76	47	39	86※	623	
		藤田 晃規②	38	37	75	39	40	79		
		大堀耕太郎①	38	42	80	41	40	81		
第8位	三重中京大学	瀧山 侑樹④	38	38	76	47	45	92※	304	325
		西原 健太③	36	37	73	39	43	82		
		薦田 浩幸③	38	38	76	38	43	81	629	
		金村 龍大②	37	42	79※	37	43	80		
		村松 万作②	40	39	79					
		後藤 宏旭①				39	43	82		
第9位	関西学院大学	岸田 佑典④	39	37	76	38	39	77	307	329
		神原 圭宏④	37	37	74	38	42	80		
		大久保雅司④	44	49	93※				636	
		藤 雄太④				43	47	90		
		前田 大地④	40	42	82	49	43	92※		
		眞鳥 翔②	36	39	75	39	43	82		
第10位	駒澤大学	吉田 祐基④	39	36	75				326	323
		高橋 佳祐②	45	44	89※	37	39	76		
		広保 啓太②	42	47	89	39	40	79	649	
		水野 陽介②				40	46	86		
		松本 憲哉①	43	43	86	44	43	87※		
		狩野 拓也①	40	36	76	41	41	82		
第11位	北海道大学	田村 泰介③	42	50	92	43	45	88	384	380
		首藤 充②	51	52	103	47	51	98		
		本多 佳祐③	50	45	95			6-6.b	764	
		米川 雄悟①	54	53	107※	48	54	102		
		下出 大雅③	46	48	94	47	45	92		
		松島 健④								
失格	萩国際大学	小杉 康太③	41	33	74	39	42	81	314	失格
		岩本 和徳③	47	41	88	44	38	82		
		吉永 福未③	37	39	76			15-3.b	失格	
		宮國雄一朗②	37	39	76	43	39	82		

最優秀選手：藤島 征次君（東北福祉④）138ストローク

平成18年度 第8回 信夫杯争奪日本女子大学ゴルフ対抗戦

- 主催 日本学生ゴルフ連盟 朝日新聞社
- 後援 日刊スポーツ新聞社
- 協賛 横浜ゴム
- 協力 こだまゴルフクラブ
- 期日 平成18年11月9日(木)～10日(金)
- 使用コース こだまゴルフクラブ 6,250yds Par72
- 競技方法 1日18ホール、2日間計36ホール・ストロークプレー。6人エントリー、5人出場、上位4人の合計ストローク数により順位を決定。
- 参加校 東北福祉大学 専修大学 法政大学 日本大学 名古屋商科大学
愛知学院大学 大阪学院大学 近畿大学 立命館大学
- 天気 第1日 晴れ 第2日 晴れ

成績

順位	大学名	氏 名	第1日			第2日			GRAND TOTAL	
			OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL	第1日	第2日
優 勝	日本大学	杉山 加奈④	38	36	74	41	39	80※	301	300
		水野真由美③	37	38	75	36	34	70		
		小山恵利子②	35	36	71	41	35	76		
		青木 敬子②	42	41	83※				601	
		新戸沙矢香②				40	37	77		
小川茉奈美①	39	42	81	37	40	77				
準優勝	東北福祉大学	山本 知佳④	35	37	72	40	40	80	295	311
		菰田 依未④	41	37	78	41	42	83		
		佐伯 三貴③	35	35	70	37	39	76		
		竹田 真実③	40	43	83※				606	
		関 舞②				41	43	84※		
原 江里菜①	39	36	75	37	35	72				
第3位	名古屋商科大学	辻崎香穂里③	39	46	85※	40	38	78	322	307
		中村美沙子③	39	45	84	42	39	81		
		久保 宣子②	40	41	81	38	38	76		
		服部 真夕①	36	36	72	37	35	72	629	
		岡田加奈恵①	43	42	85	40	48	88※		
第4位	専修大学	西村 麻衣④	40	42	82	47	42	89※	317	317
		林 佳世子③	36	38	74	40	39	79		
		片野 由布③				40	41	81		
		横須賀直美③	40	43	83				634	
		小川 真実②	38	40	78	40	41	81		
木村 麻希①	40	44	84※	37	39	76				
第5位	近畿大学	辻 恵美子④	38	38	76	39	38	77	315	327
		西島 有布④	43	44	87	44	42	86		
		平 幸子③	39	37	76	41	40	81		
		芳村 季成②	35	41	76	38	45	83	642	
第6位	愛知学院大学	月東亜矢香④	39	41	80	42	40	82	318	329
		小池 夏美③	39	39	78	41	43	84		
		光岡 麻衣③	46	43	89※	43	47	90※		
		石黒 南①	41	42	83	41	40	81	647	
		石田由梨佳①	39	38	77	38	44	82		

第8回 信夫杯争奪日本女子大学ゴルフ対抗戦

成績

順位	大学名	氏 名	第1日			第2日			GRAND TOTAL	
			OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL	第1日	第2日
第7位	法政大学	坂部 有紀②	43	46	89※	48	46	94※	327	320
		中田 春加②	39	38	77	39	39	78		
		呉本里恵子②	42	45	87	44	41	85		
		植田希実子①	43	40	83	41	39	80	647	
		綾田 絃子①	41	39	80	39	38	77		
		持田紗郁香③								
第8位	大阪学院大学	西田 舞子④	43	41	84	45	40	85	346	353
		鈴木加容子②	41	39	80	41	40	81		
		古川 明希②	56	49	105	55	56	111		
		斉藤 菜苗①	37	40	77	38	38	76	699	
第9位	立命館大学	遠山 明子④	47	53	100	55	57	112	366	365
		元井 一世③	42	41	83	38	38	76		
		山田 佐知②	49	53	102	48	49	97		
		川満陽香理①	41	40	81	43	37	80	731	

最優秀選手：服部 真夕さん（名古屋商科①）144ストローク

今回クラブ調査を行った理由として

①皆さんがクラブを買う時の参考にしてほしい

②大学ゴルフ界ではどんな道具を使用しているのかという私の興味本位の二点です。②はいいとして①の時に参考にしてもらえれば幸いです。

また、アンケート未記入も多く、数値的に矛盾が生じているところもありますが、ご理解の程をよろしくお願い致します。

男子クラブ調査

調査範囲 (C、D、E、Fブロックの選手)

部門別に見てみる。

ドライバーに関して。テイラーメイドのr7、ブリヂストンのXドライブ、こちら二つが半数を占める結果となった。アスリートモデルの両者が学生ゴルフ界でも高い使用率を示した。ちなみにr7は前モデルのTPが20名、425は5名ほど。XドライブではニューX365、405、435の順の使用率で、また旧作のXドライブについても使用率は高い。

フェアウェイウッドではダントツでVスチールの使用率が目立った。40票ある中の30票を占め、人気なのはプロの世界だけではなかった。

アイアン部門一位のミズノはMP37が10名、次いで30、33が4名なった。60や32も27も平均3名とミズノのアイアンの素晴らしさを裏図ける結果となった。またブリヂストンのXブレイドCBはブリヂストンのアイアンで6割を占め全体で最も使用が多かった(13名)。

ウェッジに関して、やはりボーケイのタイトリストが強い。スピンミルドだけでなく前モデルを使用している人も多く、ボーケイブランドの強さを感じた。しかしウェッジは好み重視な

ところもあり流行のフォーティーンやクリーブランド、そしてブリヂストンのXウェッジと票が多く割れた。

パターは2ボールがあまりに多くオデッセイと分けて集計した。2ボールはやはり抜群の使用率を保持し、二位にもオデッセイ製のパター、ホワイトホット#5も入り、3ボールもランクインしキャロウェイの独壇場となった。またスコッティキャメロンも18名と存在感をしめした。

スパイク・グローブに関してはフットジョイだ。使用率ナンバーワンは学生界でも健在。グローブで興味を引かれたのがキャスコの使用率だ。キャスコのグローブは手に馴染み使いやすいという話は本当らしい。

最後にボールについて。やはりタイトリストだ。全体の四分の一を占めその性能を誇示している。競技会でのボールの確認で四人全員がタイトリストということが大会を運営していて多々あった。

男子クラブ調査結果

対象:CDEFブロック対抗戦出場選手

ドライバー		FWウッド		アイアン		ウェッジ	
テーラーメイド	33	テーラーメイド	40	ミズノ	29	タイトリスト	36
ブリヂストン	32	ブリヂストン	24	ブリヂストン	25	ブリヂストン	22
PRGR	19	キャロウェイ	11	キャロウェイ	21	フォーティーン	19
ミズノ	12	ロイコレ	9	テーラーメイド	18	テーラーメイド	18
タイトリスト	11	PRGR	7	ダンロップ	12	ミズノ	12
ダンロップ	8	ミズノ	6	PRGR	8	クリーブランド	10
クリーブランド	6	ナイキ	5	ヤマハ	6	ナイキ	4
ヤマハ	3	タイトリスト	4	タイトリスト	5	オリジナル	3
キャロウェイ	3	ダンロップ	3	クリーブランド	5	キャロウェイ	3
ナイキ	2	ヤマハ	2	ナイキ	4	ロイコレ	2
マクレガー	1	ホンマ	1	フォーティーン	4	ダンロップ	1

パター		スパイク		シャフトW		グローブ	
2ボール	30	フットジョイ	22	ツアーAD	20	タイトリスト	14
オデッセイ	20	アディダス	12	ディアマナ	9	ブリヂストン	10
キャメロン	18	ブリヂストン	10	スピーダー	8	ミズノ	9
ロッサ	11	ナイキ	7	ミズノ	3	キャスコ	8
PING	9	PUMA	5	アルディラ	1	XXIO	6
Yes!	9	ダンロップ	3	純正シャフト	20	PRGR	2
ミズノ	6	ミズノ	2			テーラーメイド	1
ゲージデザイン	5	ボール					
ホワイトホット#5	4	タイトリスト	25				
3ボール	3	ブリヂストン	17				
ネバコン	2	キャロウェイ	11				
ブリヂストン	2	ダンロップ	6				
マクレガー	2	ナイキ	3				

女子クラブ調査

調査範囲 (A、B、Cブロックの選手)

総括として、男子より種類が豊富であり、またウェアやスパイクに力を入れていて華やかさを感じた。

部門別に見る

女子のドライバー使用率』1はViQである。その他にXXIOやPRGRなど女子ツアーで盛んに使われているクラブの使用率が目立った。ウッドのセッティング本数は約3本であったが、7番ウッドを使用している人が8割を占めていた。

アイアンに関しても同様の結果でViQやXXIOなど人気があるようだ。キャロウェイ、PRGR、テーラーメイドの使用率も高い。アイアンの番手を見ると5番アイアンからが多く、4番ア

イアンを埋めるため7番ウッドの使用率があるようだ。

パターに関して、男子と同様オデッセイが人気だ。その中でも2ボールが断トツの使用率を占める、2ボールは男女問わず幅広く受け入れられている。

ウェアに関して男子とは比べ物にならないほど、多くのメーカーが使用されているようで、パーリーゲイツ、アディダスと定番なものからラコステ、リンドバークなどといった値段のはるものなども使用されていた。キャロウェイが1位なのは正直驚いた、キャロウェイの時代が来るのか?

グローブではブリヂストンが最上位となった、
たしかに女子の大会を見ているとパラディーズ
の使用率が目立っていた記憶がある。

スパイクに関して、アディダスやブリヂスト
ンなどは女性用のスパイクを豊富に取り揃えて
いて彩りも良い印象である。

最後にクラブに始まり、ウェア、スパイク、

グローブのすべてに女性用のものが豊富に用意
されていて、最近の女子ツアーブームも相まっ
て実に華やかである。こういった背景を活かし、
大学の女子ゴルフ界ももっと人数が増えて、女
子プロ以上に盛り上がって欲しいと切に願って
いる。

女子クラブ調査結果

対象:ABCブロック対抗戦出場選手

ドライバー		ウッド、UT		アイアン		ウェッジ	
ブリヂストン	23	ブリヂストン	20	ブリヂストン	21	ブリヂストン	9
XXIO	13	テーラーメイド	15	XXIO	9	テーラーメイド	8
テーラーメイド	13	XXIO	12	キャロウェイ	9	キャロウェイ	8
キャロウェイ	10	PRGR	11	PRGR	6	PRGR	5
PRGR	10	キャロウェイ	10	テーラーメイド	5	XXIO	4
ヤマハ	6	ホンマ	6	ヤマハ	5	ミズノ	4
ロイコレ	5	ヤマハ	5	ミズノ	4	タイトリスト	3
マグレガー	5	マグレガー	5	ナイキ	1	フォーティーン	2
ミズノ	3	ONOFF	3	ミウラ	1	ゲージ	2
フォーティーン	3	ヨネックス	3	マグレガー	1	ヤマハ	2
ヨネックス	2			マルマン	1	ミウラ	1
ONOFF	2			オリジナル	1	ナイキ	1
キャスコ	2					マクレガー	1
ナイキ	1					ロイコレ	1
ホンマ	1					ホンマ	1
						マルマン	1
						クリーブランド	1
パター		ウェア		グローブ		スパイク	
オデッセイ	22	キャロウェイ	17	ブリヂストン	23	アディダス	20
2ボール	11	アディダス	12	ナイキ	8	ブリヂストン	18
ホワイットホット	8	パーリゲイツ	9	XXIO	7	フットジョイ	8
ベティナルディ	5	ラルフローレン	8	フットジョイ	6	ナイキ	7
キャメロン	4	ナイキ	7	Fit39	5	PUMA	4
PING	4	ラコステ	6	ミズノ	5	キャロウェイ	4
ゲージ	2	ポロ	4	ミック	4	テーラーメイド	1
テーラーメイド	2	リンドバーク	4	ヤマハ	3	マックスフライ	1
ブリヂストン	2	Ashworth	2	キャロウェイ	3	パーマー	1
PRGR	1	オークリー	2	PRGR	2	ONOFF	1
ウィルソン	1	スリクソン	2	タイトリスト	2	XXIO	1
Yes!	1	PUMA	2	アディダス	1	ミズノ	1
ONOFF	1	BS	2	ELLE	1	ホンマ	1
		ユニクロ	2	TRUSSADI	1	ヨネックス	1
		Black&White	1				
		プーマ	1				
		テーラーメイド	1				

目の前がバツと明るくなるような。
かんたん! PRGR。
できました。飛んだ!



T³ドライバー 502 (銀) 誕生。

PRGR

M-43,M-40,M-37 ¥73,500 (税込1本) M-34,M-30 ¥71,400 (税込1本)
対応アイアン、TMアイアン502 (銀)
全国主要ゴルフショップで試打できます。詳しくは prgr-golf.com まで。

強さの原点。



**MP
CRAFT 425**

ツアープロたちの、飛びの原点を備えたドライバー、デビュー。



MP CRAFT 425 ドライバー
ロフト角:8.5°、9.5°、10.5°/ヘッド体積:425cm³/クラブ長さ:45インチ/
シャフト:QUAD7バットスタンダード、QUAD6バットスタンダード
ドライバー1本(ヘッドカバー付) ¥89,250(本体¥85,000)
←詳しくは→ ● www.mizuno.co.jp/mp

競技会レポート

文部科学大臣杯争奪第35回日本学生ゴルフ王座決定戦

去年の雪辱晴らした！池田勇太君（東北福祉③）初優！！



◀ 優勝の池田勇太君
(東北福祉③)

文部科学大臣杯争奪第35回日本学生ゴルフ王座決定戦は三重県のグレイスヒルズカントリー倶楽部にて11月16日・17日の2日間に渡って開催された。日没などの関係で、今回から2日間のストロークプレーになった本競技会は今年最後の大舞台だ。日本タイトルを奪おうと全国各地から猛者たちが集まる。

1日目、天気は絶好のゴルフ日和だが、11月とは思えない厳しい寒さが選手を襲う。このコースは全体的に起伏に富んでおり、ホールによってはティーショットに大きなプレッシャーを感じる所もある。またグリーンも切れ方がところどころ違い最後まで気が抜けない。この難コースで初日トップに立ったのは「早稲田の大黒柱」中島徹君（早稲田④）だ。アウトコース35・インコース32のトータル67の5アンダーパーと素晴らしいプレーをみせた。それをトータル68の4アンダーパーと1打差で追うのは今大会優勝候補の筆頭「学生ゴルフ界の首領」池田勇太君（東北福祉③）。続いてトータル70の2アンダーパーで渡邊優登君（東北福祉②）・早乙女剛史君（日本④）・草瀬大志君（日本③）が虎視眈々と明日の追い上げを狙う。

最終日、この日も前日に引き続き天候に恵まれた。最後の年に初の日本タイトルを掴みたい中島君と昨年惜しくも逃した優勝を今年は勝ち取りたい池田君、2人はスタート前から熱い闘志を滾らせていた。前半のハーフで中島君は35の1アンダーパー、池田君は34の2アンダーパーとして両選手はトータル6アンダーパーで並んだ。この時点でトップ争いに割って入れる者はもう1人もいなかった。同伴競技者は「この2人はゴルフの次元が違う」と後に洩らしていた。

後半ついに池田君が中島君に一打の差をつけた。残りホールは3ホール。16番ロングホール。池田君のティーショットは右の斜面へ、中島君はフェアウェイ。ここで勝負に出た中島君は2打目をドライバーで打ち積極的にバーディーを狙った。しかし3打目は左ラフとピンを狙うには最悪の位置。結局両者ともにパーで差は1打差のまま。17番ホールはパー3、第1打目は両者ともにカラー。中島君はバターで狙いにいくが惜しくも入らずパー。しかしここで思わぬ事態が起こった。池田君がアプローチをオーバーさせ、下りの嫌な距離を残してしまいパットが入らずボギー。再びここで両雄は並んだ。

最後18番ホールパー4。ティーショットはほぼ同じ位置だ。セカンドショットで中島君はピン横3メートルに、一方池田君はグリーン奥にこぼしてしまう。だが百戦錬磨の池田君はこのプレッシャーのかかる場面で絶妙なアプローチを見せる。勝敗の行方は中島君のバット次第。だがこれが惜しくも外れてしまい結局36ホールで決着つかずプレーオフへ。夕闇の迫る中2人はこの長い戦いの終止符を打ちに向かった。

プレーオフ1ホール目、両雄を襲う冬の寒さ。だが2人にはそんなものは問題にならなかった。同じようなティーショットを打ち、セカンド地点もほぼ同じ位置。2人の実力がいかに均衡しているかがわかる。だが中島君はセカンドを引っ掛けてしまいバンカーへ、逆に池田君はグリーン中央に乗せた。ここはどうしても寄せたい中島君だが、バンカーショットはピンまで7メートルというミスショット。池田君はバーディーパットを寄せお先のパー。中島君の敗北かと思われたが、中島君はこのロングパットを執念でねじ込みパーとした。再び同じホールでプレーオフ2ホール目。先ほどと同じように両者とも素晴らしいティーショット、今度は2人も2打目でグリーンを捉えパット勝負へ。中島君は再び強気にバーディーパットを打ったが惜しくも入らず、池田君は絶対バーディーを奪うと宣言。そして宣言どおり真ん中からバーディーパットを決めた。これには中島君も賞賛を送り、2人はこの死闘の終わりを告げる熱い握手を交わした。

池田君はこの優勝で日本学生に引き続き文部科学大臣杯も制し、今年2冠目を飾った。今年の池田君の平均ストロークは約69ストローク（関東・日本学生の試合のみ）と抜群の安定感を誇っている。来年4年生になる池田君の更なる活躍に期待したい。

優勝者コメント

「今年は関東・日本・世界で勝って、その間に様々な試合があった。ゴルフの調子はパターからドライバーまで良い。しかし調子が良いのにスコアが出ない、勝利への執念がなくなっている...? 気持ちで負けているのかも大会前に感じていました。ですからこれからアジア大会などへ向けて、この大会には気持ちを全面に押し出して勝ちにいくと決めていました。しかし逆転したのに途中で中島選手に迫りつかれプレーオフまで纏れてしまいました。このままでは以前と何も変わらないと奮起しプレーオフ2ホール目でバーディー宣言をして、最後のパットは勝ちへの執念で入れることができました。このプレーオフはそういう勝ちへのこだわりや気迫がないと勝利をつかむことはできないと教えられた。この勝利は4年生へ向けてのいい弾みになった。まだ取っていない朝日杯・日本アマのタイトルを最後の年は絶対取りにいく!!!」

渡邊 亮太（学習院大学）

平成18年度 文部科学大臣杯争奪第35回日本学生ゴルフ王座決定戦

- 主 催 日本学生ゴルフ連盟・日刊スポーツ新聞社
 ●後 援 文部科学省・朝日新聞社
 ●期 日 平成18年11月16日(木)～17日(金)
 ●使用コース グレイスヒルズカントリー倶楽部 7,247yds Par72
 ●出場資格 文部科学大臣杯争奪第34回日本学生ゴルフ王座決定戦クオリファイ者、第60回日本学生ゴルフ選手権上位30位タイ以内、第53回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権上位5位以内 残りは北海道3人、関東29人、中部15人、関西22人、中四国5人、九州8人を各地区より推薦する。
 ●競技方法 18ホール・ストロークプレー、2日間合計36ホール・ストロークプレーにより順位を決定。1位がタイの場合は、即日委員会の指定するホールにおいてサドンデス方式によるプレーオフを行う。
 ●天 候 第1日 晴れ 第2日 晴れ

成績

順位	氏 名	大学名	第1日			第2日			GRAND TOTAL
			OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL	
1	池田 勇太	東北福祉③	34	34	68	34	36	70	138
1位、2位はプレーオフにより決定									
2	中島 徹	早稲田④	35	32	67	35	36	71	138
3	谷山 優太	日本①	37	36	73	37	34	71	144
4T	渡邊 優登	東北福祉②	34	36	70	40	35	75	145
	亀井 美博	東北福祉①	37	35	72	38	35	73	145
	小林伸太郎	東北福祉②	38	33	71	36	38	74	145
	中道 洋平	東北福祉③	40	33	73	33	39	72	145
8T	小池 一平	山梨学院③	37	39	76	36	35	71	147
	東 大悟	大阪学院④	37	36	73	38	36	74	147
	近藤 龍一	同志社②	35	38	73	37	37	74	147
	早乙女剛史	日本④	33	37	70	39	38	77	147
	塚田 陽亮	名古屋商科②	37	34	71	34	42	76	147
13T	澤田 健一	中京学院③	37	36	73	37	38	75	148
	石原 良成	立命館④	37	37	74	36	38	74	148
15T	芳賀 洋平	中央学院③	38	36	74	38	37	75	149
	鬼澤 友秀	日本体育①	37	38	75	37	37	74	149
	藤田 晃規	大阪学院②	37	38	75	36	38	74	149
	安本 大祐	東北福祉②	37	38	75	36	38	74	149
	小山貢志郎	九州東海③	37	37	74	36	39	75	149
21T	仁木 海渡	日本④	38	37	75	34	40	74	149
	田代 格	慶應義塾④	36	42	78	37	35	72	150
	勝又 崇之	専修④	40	35	75	38	37	75	150
	岡部 大輔	東北福祉①	41	36	77	36	37	73	150
	橋爪 光彦	日本④	36	42	78	35	37	72	150
	高橋 佳祐	駒澤②	39	34	73	38	39	77	150
27	後藤 拓磨	中央学院④	37	37	74	37	39	76	150
28T	広保 啓太	駒澤②	37	38	75	39	37	76	151
	龍山 陽平	三重中京④	42	38	80	39	33	72	152
	土屋 崇宏	東北福祉④	36	39	75	41	36	77	152
	表 太郎	金沢学院④	38	36	74	41	37	78	152
	宮本 圭宏	日本④	38	35	73	40	39	79	152
	神原 拓也	関西学院④	40	35	75	38	39	77	152
34T	狩野 健太	駒澤①	38	40	78	35	39	74	152
	林 健太	大阪学院②	38	41	79	40	34	74	153
	石田鈴千代	中央学院④	39	39	78	39	36	75	153
	藤本 俊	東北福祉①	39	37	76	40	37	77	153
	古味 重威	名古屋商科③	36	36	72	42	39	81	153
38T	高橋 賢	専修②	37	40	77	41	36	77	154
	楠 啓吾	専修②	39	39	78	40	36	76	154
	石川 元樹	東北福祉③	40	39	79	39	36	75	154

文部科学大臣杯争奪第35回日本学生ゴルフ王座決定戦

成績

順位	氏 名	大学名	第1日			第2日			GRAND TOTAL
			OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL	
38T	和田健太郎	東北福祉②	35	40	75	41	38	79	154
	木村 優人	大阪学院③	41	35	76	40	38	78	154
	青山 慎達	名古屋商科①	38	39	77	39	38	77	154
	田村 三成	九州東海④	38	38	76	39	39	78	154
	見崎 和也	同志社③	37	39	76	39	39	78	154
	榎本 剛	法政②	38	34	72	41	41	82	154
48T	花岡 和典	名古屋商科③	33	42	75	38	41	79	154
	植田 顕義	龍谷④	43	36	79	39	37	76	155
	長田 洋志	愛知①	41	40	81	37	37	74	155
	上間 匡	九州東海②	40	35	75	42	38	80	155
	山田 稔	中央③	37	40	77	39	39	78	155
	高橋 克成	東北学院②	37	41	78	37	40	77	155
	江口 幸輝	中央学院①	35	39	74	39	42	81	155
	荒木 龍人	愛知①	38	37	75	38	42	80	155
	万袋 裕紀	甲南③	36	38	74	37	44	81	155
56T	高畑 友希	名古屋商科①	36	41	77	41	38	79	156
	西原 健太	三重中京③	37	39	76	41	39	80	156
	杵鞭 謙二	東北福祉①	39	39	78	38	40	78	156
	嶋崎 辰紀	同志社②	38	38	76	37	43	80	156
60T	岸本 拓也	中京学院④	39	39	78	40	39	79	157
	小田 秀明	中京学院②	38	44	82	36	39	75	157
	葛田 浩幸	三重中京③	37	38	75	42	40	82	157
	森中 健介	立命館③	39	39	78	39	40	79	157
	大谷 俊介	名古屋商科④	36	38	74	41	42	83	157
	草瀬 大志	日本③	39	31	70	39	48	87	157
66T	横田 浩平	大阪学院④	39	40	79	42	37	79	158
	宮國雄一郎	萩国際②	42	35	77	41	40	81	158
68T	吉永 福未	萩国際③	42	40	82	39	38	77	159
	三品 貴泰	愛知学院④	41	41	82	38	39	77	159
	真田 雅彦	早稲田②	39	37	76	43	40	83	159
	斉藤 麗	早稲田③	36	46	82	37	40	77	159
	工藤亜沙希	第一経済③	40	43	83	36	40	76	159
	日原 篤志	法政①	37	40	77	41	41	82	159
	徳山 基倫	近畿③	40	37	77	39	43	82	159
75T	窪田 新平	早稲田③	39	43	82	41	37	78	160
	若林 朋宏	城西②	41	40	81	39	40	79	160
	大塚 真輝	愛知学院④	42	40	82	37	41	78	160
	比嘉 拓也	名古屋商科①	36	37	73	44	43	87	160
79T	後藤 太志	甲南②	41	40	81	43	37	80	161
	坂元 太志	第一経済④	36	52	88	36	37	73	161
	齋藤 伸夫	慶應義塾④	38	41	79	43	39	82	161
	岸田 佑典	関西学院④	41	42	83	38	40	78	161
83T	岩橋 徹	日本③	38	43	81	41	40	81	162
	小杉 康太	萩国際③	38	38	76	44	42	86	162
	岡田 壮広	日本③	37	40	77	43	42	85	162
	岩本 和徳	萩国際③	37	43	80	38	44	82	162
87T	丸山 聖	日本④	43	36	79	47	37	84	163
	西田 昌史	名古屋商科③	41	40	81	43	39	82	163
	土城 弘大	近畿②	37	46	83	41	39	80	163
	岡本 祐一	近畿②	41	44	85	39	39	78	163
	阿部 剛丈	中京学院①	38	41	79	44	40	84	163
	川崎 歩	日本④	36	42	78	39	46	85	163
93T	関 貴之	日本体育①	46	42	88	41	35	76	164
	羽生 淳一	日本④	37	45	82	44	38	82	164
	渡辺 洋平	第一経済②	41	41	82	43	39	82	164
	渡辺 怜央	東北学院①	38	36	74	46	44	90	164
97T	宮里 政志	専修①	40	41	81	43	41	84	165
	益田 佳明	徳山④	41	42	83	39	43	82	165
99T	奥田 英也	甲南①	44	41	85	41	40	81	166
	手嶋宗一郎	九州東海①	44	37	81	44	41	85	166
	山崎 祐一	中央学院③	41	42	83	37	46	83	166
102T	中島 敦史	大阪学院②	43	41	84	41	42	83	167
	山岸慎太郎	慶應義塾③	43	41	84	39	44	83	167
104T	宮下光太郎	第一経済①	43	41	84	43	41	84	168
	深見 元貴	長崎国際②	47	43	90	37	41	78	168
106	小杉 竜三	中京学院①	39	45	84	42	44	86	170
107	高羅 信明	甲南④	38	43	81	47	43	90	171
108	播磨 良輔	甲南②	44	45	89	50	39	89	178

安田太志君 (中央①) が独走で優勝

男子

第44回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人選手権は、12月4日(月)に昨年と同様に名門の我孫子ゴルフ倶楽部で晴れの中行われた。今年が2回目の開催となった我孫子ゴルフは比較的フラットのホールが多く、距離も長い方ではないので一見まわりやすいコースのように思われる。しかし、結果をみてわかる様に驚異的なスコアは出にくいようだ。そんな中、前半を34ストロークとただひとりのアンダーパーで好発進をみせたのが安田太志君 (中央①) である。またそれに続いて浅見優君 (獨協②) も37ストロークと順調なスタートをみせた。浅見君は後半、ボギーが先行してしまう。逆に後半粘りを見せたのが田辺雄大君 (明治①) と原克徳君

(日本②) である。共に前半40ストロークと実力とは違ったスコアであったが、田辺君は2バーディ3ボギー、原君は1ボギーの37ストロークと粘りを見せた。しかし今年の会長杯の優勝争いは、去年のようなドラマは無く、安田君の4バーディ2ボギーという安定のあるゴルフにみんながおいでいかれる形で終了した。この試合で安田君は第55回関東学生ゴルフ選手権本選への出場権を獲得した。

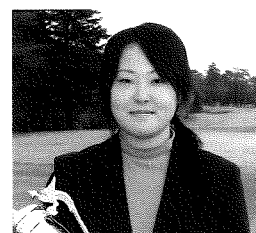


◀ 会長杯優勝の安田太志君 (中央①)

高橋愛理さん (駒澤②) が逃げ切って初勝利

女子

第42回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人選手権は、12月4日(月)に男子と同じ日程で行われた。去年に引き続き会場となった我孫子ゴルフ倶楽部は、バンカーが多くグリーンが小さいため女子にとってもかなり難しいコースとなったようだ。そんな中、好発進を見せたのが41ストロークの高橋愛理さん (駒澤②) と、1打差の42ストロークの高橋美帆さん (中央学院①)、小森佐和子さん (東洋英和③) である。前半を終えて1打差という接戦の中どのような結果になるのか楽しみであった。後半の1ホール目、高橋美帆さんはしっかりとバーディを取り二人が並んだ。同スコアできた5ホール目、高橋愛理さんはバーディ、高橋美帆さんはボギーと差がつく事になる。照らし合わせたスコアカー



◀ 女子 会長杯優勝の高橋愛理さん (駒澤②)

ドを見ると、そのホールが二人のリズムを変えたのは明らかであった。出場選手の中で、唯一30台をマークした高橋愛理さんが優勝した。今年の優勝争いを制した高橋さんは第45回関東女子学生ゴルフ選手権への出場権を獲得した。今年の会長杯女子を振り返ると、出場選手中70台で回ってきたのが優勝した高橋さんただひとりであったのが少し残念であった気がする。また、残念ながら女子の一部の人たちがホールナンバーを間違えるといった事件を起こしてしまいました。失格者は出なかったが今後はこのような事が起こらないように注意した運営をしていきたいと思う。

権澤裕一(中央学院大学)

result

平成18年度
第44回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人選手権

- 主催 関東学生ゴルフ連盟
- 期日 平成18年12月4日(月)
- 使用コース 我孫子ゴルフ倶楽部 6,778yds Par72
- 競技方法 18ホール・ストロークプレー
- 出場資格 平成18年度関東学生ゴルフ連盟月例会通過者、学連登録年が2年以内で今年度団体戦に選手登録をしていない者。
- 取得権利 優勝者は、第55回関東学生ゴルフ選手権本選へ、第2位から第5位までは同関東学生ゴルフ選手権予選会へ、ブロック別人数割りとは関係なく出場できる。
- 天候 晴れ

成績

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL	順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL
1	安田 太志	中央①	34	36	70	34T	岡田 將	慶應義塾①	46	41	87
以上、第55回関東学生ゴルフ選手権本選への出場権を獲得。											
2	浅見 優	獨協②	37	39	76		白戸 翔	城西③	44	43	87
3T	原 克徳	日本②	40	37	77		田口 友樹	駒澤②	43	44	87
	田辺 雄大	明治①	40	37	77		金子 真育	慶應義塾①	42	45	87
5T	穴戸 聡	中央②	39	39	78	39T	大関 翔	日本①	40	47	87
以上、第2位以下4名は第55回関東学生ゴルフ選手権予選会へ、ブロック別人数割りとは関係なく出場できる。											
	富永 龍介	明治①	38	40	78		鈴木 正智	千葉経済②	48	40	88
7T	坂上 陸郎	日本①	39	40	79	42T	安藤健次郎	成城②	43	45	88
	迫田 定幸	青山学院②	39	40	79		水野 陽介	駒澤②	42	46	88
9T	佐藤 弘樹	順天堂②	42	38	80		三宅優一郎	成蹊②	52	39	91
	本多 俊弘	神奈川①	41	39	80		浅賀 貫太	早稲田②	48	43	91
	榎本 泰治	早稲田①	41	39	80		渡辺 淳	学習院②	46	45	91
	金山 弥夢	東京経済③	39	41	80	48	品川幸太朗	駒澤①	45	46	91
	櫻井 崇路	東海③	39	41	80	49T	福田 徹	筑波②	44	47	91
	大野 諒	城西①	39	41	80		大泉 聡	慶應義塾①	44	47	91
	野手 将之	城西②	38	42	80		太田 翔	中央学院②	45	47	92
16	深野 高弘	中央学院③	44	37	81		山崎 雅里	千葉経済①	46	47	93
17	岩田 善信	慶應義塾①	43	39	82	52	原田 陽平	立教②	45	48	93
18T	外園 智大	専修①	45	38	83	53	谷口 豪樹	中央学院①	43	50	93
	鶴原 亮	慶應義塾②	45	38	83	54T	古池 陽太	中央②	49	45	94
	上田 晃弘	拓殖①	43	40	83	56T	瀬尾 圭佑	成城①	50	45	95
21T	中條 大地	中央学院①	45	39	84		濱本玲央奈	東海①	52	44	96
	横山 三博	大東文化③	44	40	84		平野 智久	東京②	47	49	96
	飯島 慎平	明治①	44	40	84	58	寺尾 洋介	立教②	49	48	97
	谷 国大	青山学院③	42	42	84	59T	石川 峻	東海①	49	48	97
	郡司 聡史	立教③	41	43	84		松本 慎平	立教②	49	49	98
27T	仲宗根一樹	中央学院①	40	44	84	61	山本 裕司	獨協①	55	44	99
	松本 偉嗣	日本①	46	39	85	欠席	大川原 光	中央②	46	53	99
	石合 智史	中央学院①	44	41	85	欠席	山田 智士	成城①	55	56	111
29T	相原 宏昭	東海③	44	42	86	欠席	楠部 幸路	東京①			
	広兼 祐介	早稲田③	43	43	86	欠席	志田 晃一	神奈川①			
	岩井 豪海	慶應義塾③	43	43	86	欠席	藪内 祐太	中央学院①			
	上條 裕誠	早稲田②	42	44	86	欠席	千葉 康治	日本②			
	谷本 聖己	中央学院②	40	46	86	欠席	関根 拓也	早稲田②			
						欠席	中田 雄喜	中央学院①			
						欠席	山崎 大輔	慶應義塾①			

平成18年度 第42回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人選手権

- 主催 関東学生ゴルフ連盟
- 期 日 平成18年12月4日(月)
- 使用コース 我孫子ゴルフ倶楽部 6,102yds Par72
- 競技方法 18ホール・ストロークプレー
- 出場資格 平成18年度関東学生ゴルフ連盟月例会通過者、学連登録年が2年以内で今年度団体戦に選手登録をしていない者。
- 取得権利 優勝者は、第45回関東女子学生ゴルフ選手権本選へ、第2位から第5位までは同関東女子学生ゴルフ選手権予選会へ、ブロック別人数割りとは関係なく出場できる。
- 天候 晴れ

成績

順位	氏名	大学名	OUT	IN	TOTAL
1	高橋 愛理	駒澤②	38	41	79
以上、第45回関東女子学生ゴルフ選手権への出場権を取得。					
2	高橋 美帆	中央学院①	41	42	83
3	福田 哉子	駒澤①	42	46	88
4	松本 夏美	中央学院①	41	48	89
5	荻窪 文佳	学習院②	44	48	92
以上、第2位以下4名は第45回関東女子学生ゴルフ選手権予選会へブロック別人数割りとは関係なく出場できる。					
6	宮本 紗織	慶應義塾③	48	45	93
7T	高作香緒里	慶應義塾①	47	48	95
	松田 奈未	日本女子③	46	49	95
	牧田みほり	慶應義塾③	46	49	95
	中森みなみ	東洋英和③	45	50	95
11	豊田 展子	日本女子③	45	51	96
12	小森佐和子	東洋英和③	55	42	97
13	関根 季菜	学習院②	49	49	98
14T	櫻井彩也香	学習院①	49	50	99
	上島 礼子	國學院②	48	51	99
	茂木 南	駒澤①	47	52	99
17T	磯部 由佳	東洋英和③	52	48	100
	望月 優花	獨協①	47	53	100
19	嶋田 早恵	慶應義塾②	51	54	105
20T	風見 杏奈	学習院②	57	50	107
	金野 友紀	慶應義塾②	54	53	107
22	柴田 晃子	東洋英和②	53	56	109
23	菊地 桃子	学習院②	54	56	110
24T	福岡加奈子	東洋英和②	58	53	111
	渡 美貴子	立教②	55	56	111
	東南さくら	慶應義塾②	50	61	111
27	松島 彩夏	日本女子②	56	57	113
28T	秋山 紘子	立教②	61	55	116
	松田みどり	東洋英和③	54	62	116
30	田中葉緒子	学習院②	57	63	120
31	望月 恵	慶應義塾①	59	63	122
32	窪田有里子	立教②	61	65	126
33	佐藤 祐里	東洋英和②	72	70	142

平成18年度 関東学生ゴルフ連盟男子11月月例会

- 主催 関東学生ゴルフ連盟
- 期 日 平成18年11月2日(木)
- 使用コース ユーアイゴルフクラブ 皐月一橋 6,781yds Par72
- 競技方法 18ホール・ストロークプレー
- 取得権利 上位9名の選手が、第44回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦への出場権を取得(タイの場合、マッチング方式にて順位を決定。)
- 天候 晴れ

成績

順位	氏名	大学名	皐月	橋	TOTAL	順位	氏名	大学名	皐月	橋	TOTAL
1	上田 晃弘	拓殖①	40	40	80		佐藤根達平	学習院①	44	48	92
2	谷口 豪樹	中央学院①	40	41	81		別府 弘章	立教②	44	48	92
3T	上條 裕誠	早稲田②	42	41	83	24	山崎 雅里	千葉経済①	52	41	93
	渡辺 淳	学習院②	41	42	83	25	岡江 慧	東京①	49	45	94
5T	原田 陽平	立教②	43	41	84	26	加藤 直也	慶應義塾①	51	44	95
	迫田 定幸	青山学院②	42	42	84	27T	田所 雄紀	國學院②	47	49	96
7	関根 拓也	早稲田②	42	43	85		兎本 光司	東海②	46	50	96
8T	楠部 幸路	東京①	45	41	86		木村 雅俊	千葉商科①	45	51	96
	鈴木 正智	千葉経済②	44	42	86	30T	大泉 聡	慶應義塾①	54	43	97
以上、上位9名の選手が第44回会長杯争奪関東学生ゴルフ新人戦への出場権を獲得。							田島慎太郎	東海①	48	49	97
	服部 真士	東海②	43	43	86	32T	峯崎 雄大	東京①	49	49	98
11	青木 貴史	中央学院②	46	42	88		高橋 晃一	獨協②	48	50	98
12	浅賀 貫太	早稲田②	47	42	89	35	島田 政治	拓殖①	48	50	98
13T	吉田 匠吾	成城②	48	42	90	36T	湯井 晃	獨協②	48	53	101
	星 裕朗	新潟③	47	43	90		石鍋 祐樹	順天堂①	53	50	103
	古村嘉一郎	慶應義塾③	46	44	90	38	長田 和也	立教①	52	51	103
16T	石井 陽介	学習院③	48	43	91	39T	山口 弘人	筑波③	49	55	104
	亀井 孝典	筑波②	48	43	91		大平 将之	創価②	56	55	111
	櫻井 真美	國學院③	43	48	91	41	高橋顕太郎	創価②	55	56	111
19T	小林勇一郎	玉川③	47	45	92		山下 潤平	順天堂①	62	67	129
	小野 真輔	國學院③	46	46	92		岡田 直己	筑波②		6-6.d	失格
	山岸 佳祐	千葉商科③	45	47	92		中崎 吉章	中央学院①		6-3.a	失格
							豊田 昌宏	玉川②		6-6.b	失格

平成18年度 関東学生ゴルフ連盟女子11月月例会

- 主催 関東学生ゴルフ連盟
 ●期 日 平成18年11月2日(木)
 ●使用コース ユーアイゴルフクラブ 椿一桜 5,899yds Par72
 ●競技方法 18ホール・ストロークプレー
 ●取得権利 上位5名の選手が、第42回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人戦への出場権を取得(タイの場合、マッチング方式にて順位を決定。)
 ●天 候 晴れ

11月 成績

順位	氏 名	大学名	皐月	桜	TOTAL
1	松田 奈未	日本女子③	46	44	90
2	渡 美貴子	立教②	48	46	94
3	柴田 晃子	東洋英和②	53	49	102
4T	松島 彩夏	日本女子②	52	51	103
	豊田 展子	日本女子③	48	55	103

以上、上位5名の選手が第42回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ新人戦への出場権を獲得。

6	村上 静	慶應義塾①	55	49	104
7	五十嵐 瞳	学習院③	53	54	107
8	阪口 奈々	青山学院①	56	55	111
9T	秋山 絃子	立教②	57	55	112
	針谷 夏代	大妻女子①	57	55	112
11	小島 美香	獨協②	61	53	114
12	菊地 桃子	学習院②	58	57	115
13	戸山 知美	東京①	61	58	119
14	服部小百合	立教②	62	59	121
15	菊池 更織	慶應義塾①	56	68	124
16	岡田 早紀	青山学院①	61	66	127
17	佐藤 祐里	東洋英和②	63	66	129
18	山口 由貴	東洋英和②	72	64	136
19	竹内 美紀	慶應義塾①	76	70	146

競技会レポート

2006年度 アジア大学ゴルフ選手権

男子は若手メンバーながら奮闘、優勝に一步届かず 女子は期待の新星を揃え、韓国・台湾に完勝



◀ 日本代表メンバー

最終日は天候も回復し、選手の気持ちを奮い立たせた。しかし、天候が回復するも選手のショット・パットともに暗雲が立ち込めてきた。初日から60台を出し、波に乗る安本君もここに来て72と力を発揮できなかったが、亀井君が連日アンダーバーの71で回り、チームを支えた。天候に恵まれなかった54ホールを終え、日本は韓国に3打及ばず準優勝であった。

アジア大学ゴルフ選手権が昨年の11月28日～30日までの3日間、韓国・済州島のJeju Ora Golf Clubで開催された。参加したのは、地元韓国を始め日本、台湾から男子4チーム、女子3チーム。それぞれが54ホールストロークプレーで、団体戦・個人戦を競い合った。同大会は3回目を向かえ、前年度は日本が団体・個人ともに優勝を独占という結果だった。しかし、韓国・台湾ともに実力を持った選手が揃い、今年は最終日までつれるという白熱した戦いであった。

日本男子チームは、小池一平君(山梨学院③)、安本大祐君(東北福祉②)、亀井美博君(東北福祉①)、谷山優太君(日本①)という4年生のいない若手メンバーで臨んだ。一方女子も、高林由実さん(中京学院②)、小山恵利子さん(日本②)、綾田絃子さん(法政①)、服部真夕さん(名古屋商科①)という全て1、2年生だけの期待の新星でチームを形成した。

第1日目の28日は、すっきりとした天候ではなかったが、前日の雨でコンディションが心配される中、男子チームは安本君が69というスコアを出しチームを引っ張った。だが、他の選手が思うようにスコアが出せず初日は韓国Aチームに2打離される結果となった。

コースにも慣れ、次第に調子を上げてきた日本チームは、いまだ天候の回復しない2日目に、その実力を見せ付けた。初日69をマークした安本君は、2日目も更にスコアを縮め68を叩きだし、続く亀井君が後輩の意地で70をマークした。最年長、小池君はパットに悩まされながらも72でまとめ、チームで6アンダーという猛チャージをみせた。しかし、首位の韓国Aチームも4アンダーと堅実にスコアを縮め、2日目を終了した時点で日本と韓国がタイとなった。

女子チームは初日から思うようなゴルフができず、スコアを伸ばせなかったが、韓国・台湾ともにスコアが出ず1打差の2位で1日目を終了した。

2日目には、高林さんが73で回りチームを引っ張り、続く綾田さんが75、服部さんが76と不本意ながらも安定したスコアであった。堅実なプレーで2日目を終了した時点で順位が入れ替わり、日本チームが首位に躍り出た。

最終日、この日のヒロインは服部さんだった。2日目まではいまいち実力を発揮できないでいたが、イーブンバーの72で回り、日本チームを優勝へと導いた。終わってみれば、2位の韓国に13打差をつける完勝だった。

個人戦は2日間60台で回った安本君がトータル209打で準優勝、2日目、3日目にアンダーバーをみせた亀井君がトータル215打で3位であった。

女子は服部さんが、トータル225打で準優勝であったが、最後まで優勝がわからない状況であった。最終日、15ホールを終了した時点でイーブンバーとしていたが、続く16番ホールで長いバーディパットを沈め1アンダーとした。このまま行けば優勝も見えた矢先の出来事、17番ホールパー3で予想外のボギーを叩きスコアを落としてしまった。決着は最終18番ホールにゆだねられたが、セカンドショットが定まらずグリーン奥に乗ってしまい、18番ホールをパーで終了した。終わって初めて気付いたが、優勝した台湾のHsu Ke-Huiさんとの差はわずか1打であった。

結果的に、男子は団体準優勝、個人で準優勝と3位、女子は団体優勝、個人では準優勝であったが、前年度の成績からも年々アジアのレベルが上がっていることを実感した。今回、日本チームは若手のメンバーでチームを構成したが、選手一同良い経験になったのではないかな。是非次回の大会では、男女ともに優勝の2文字を掲げてもらいたい。

加賀山 雅(立教大学)

2006年度 アジア大学ゴルフ選手権

- 主催 韓国大学スポーツ協会、韓国大学ゴルフ協会
- 後援 Jeju Special-Goneming Province
- 期 日 平成18年11月28日(火)～30日(木)
- 使用コース Jeju Ora Golf Club (韓国・済州島)
- 競技方法 3日間合計54ホール・ストロークプレー。男女共、4人出場、上位3人のトータルスコアで順位を決定。
- 参加国 日本、韓国、台湾
- 出場選手 男子…小池一平(山梨学院③)、安本大祐(東北福祉②)、亀井美博(東北福祉①)
(日本チーム) 谷山優太(日本①)
女子…小山恵利子(日本②)、高林由実(中京学院②)、綾田紘子(法政①)
服部真夕(名古屋商科①)
- 天候 第1日 曇り 第2日 曇り 第3日 晴れ

成績 男子団体

順位	国名	第1日	第2日	第3日	GRAND TOTAL
優勝	韓国	215	212	215	642
準優勝	日本	217	210	218	645
第3位	台湾	234	216	219	669

成績 女子団体

順位	国名	第1日	第2日	第3日	GRAND TOTAL
優勝	日本	235	224	222	681
準優勝	韓国	234	226	234	694
第3位	台湾	234	233	233	700

成績 男子個人

順位	氏名	第1日	第2日	第3日	GRAND TOTAL
優勝	Jin O-Song (韓国)	70	69	69	208
準優勝	安本 大祐	69	68	72	209
第3位	亀井 美博	74	70	71	215
	小池 一平	76	72	75	223
	谷山 優太	74	74	75	223

成績 女子個人

順位	氏名	第1日	第2日	第3日	GRAND TOTAL
優勝	Hsu Ke-Hui (台湾)	78	71	75	224
準優勝	服部 真夕	77	76	72	225
第3位	Gyu Ri-Ban (韓国)	73	76	76	225
	小山恵利子	77	79	74	230
	綾田 紘子	81	75	76	232
	高林 由実	82	73	78	233

編集後記

こんにちは渡辺淳です。

KSGAも無事に70号を迎えることが出来ました、これも学生ゴルフ界の皆さんのおかげです。

今年、学連は新たな試みに挑戦します。というのも今年から二つの新しい競技会を新設するのです。まずビザラカップです。えっ！？と感じる人もいるかもしれません。そしてもう一つが紅葉杯争奪グランドマンスリー選手権です。えっ！？横文字を使って学連どうしちゃったの！？とさらに思うかもしれません。

ちなみにビザラカップはCブロック以下のブロックの人たちを対象とする、その人達を主役にした大会です。紅葉杯は会長杯が今年から変わるため、以前の会長杯をベースに、実力に関係なくさらに多くの人が参加しやすいように変更した大会です。

私は今回新設された大会が非常に意味のあるものだと考えています。以前も書かせていただきましたが私は学習院大学ゴルフ部に所属しています。学習院ではゴルフを大学から始める部員が多く、メインの春秋の対抗戦を除くと出られる試合は毎月の実力の差から月例会、そして各予選会と限られてしまいます。実力のあるABブロックの人たちは男女に限らず、全国大会、関東学生、日本学生や朝日信夫杯、など様々な大会に出場し、学生ゴルフ界において二極化が起きてしまいました。

これら二つの大会のコンセプトはこの二極化の是正です。Cブロック以下の人達の中で、朝日杯や日本学生のような大きな大会をつくろうじゃないか、ということで生まれました。関東学生ゴルフ連盟に所属しているすべての人にゴルフの面白さを味わってもらおうという連盟委員のアツイ想いがこの二つの大会には込められているのです。

また毎月行われている月例会も少し変わります。リミットを変更し、月例会でのクオリファイ数を増やし、紅葉杯への出場人数を増やしました。上手い人だけではなく、上手い下手にかかわらず誰でもその実力を発揮できる場を設けよう、それが私たち連盟委員の想いなのです。

学連に所属するすべての人にゴルフを楽しんでもらえるため、我々学連は今年、よりいっそう頑張りたいと思います！

最後に、私はこの一年間、広報局長としてKSGAを発行してきました。私が多くのミスをしながらも年四回、無事KSGAを発行することが出来たのは、学連で事務を務めていらっしゃる芝山さん、そして会計をされている本村さん、このお二人のお力添えがあったからです。そしてKSGAの印刷をいただいている伸榮の横田社長、私の傍らで支えてくれた広報局次長の杉浦の両名に感謝の意を述べ、次の広報局長である川島にバトンタッチし、私の任を締めくくりたいと思います。

皆さん、一年間ありがとうございました！KSGAをこれからもよろしくお願いします！

広報局長 渡辺 淳 (学習院大学)

関東学生ゴルフ連盟 機関誌 2007/Vol.70

平成19年3月25日発行
(年4回発行)

発行人 松本 富夫

編集人 渡辺 淳

発行 関東学生ゴルフ連盟

〒101-0061

東京都千代田区三崎町3-9-3

チヨダビル4階

電話 03-3263-4377

FAX.03-3263-4590

編集 関東学生ゴルフ連盟広報局